



# LIXIL ハンドルセット・シリンダーセット

# 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願

- 本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やミシン油を注入しないでください。作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑材(DASZ020)又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

## ■取付け順序

### 1 メイン箱錠・サブ箱錠の取付け

- ①皿小ねじでメイン箱錠を取付けます。
- ②皿小ねじでサブ箱錠を取付けます。

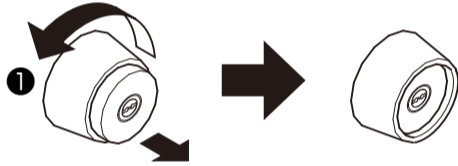
### 2 シリンダー・サムターンの取付け

#### 【WNキーの場合】

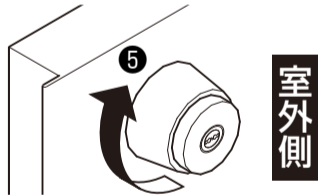
- ①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。  
※シリンダーに上下の向きはありません。
- ②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。  
※サムターンのつまみは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのつまみを縦にしてください。
- ③サムターンをシリンダーにねじ止めします。  
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。  
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。  
※メイン・サブ用のシリンダー、サムターンの区別はありません。  
(2ロック仕様の場合)

#### 【DNキーの場合】

- ①シリンダー座を反時計回りに回し、シリンダー正面に移動させてください。



- ②シリンダーの刻印を上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。
- ③サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。  
※サムターンのつまみは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのつまみを縦にしてください。
- ④サムターンをシリンダーにねじで仮締めします。  
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ⑤シリンダー座をドアの表面に合わせ締め込み、仮締めしたねじを増締めします。



- ※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
- ※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。(2ロック仕様の場合)

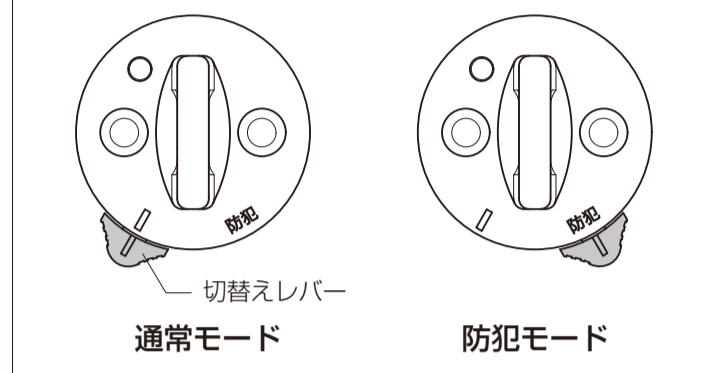
### 3 レバーハンドルの取付け

- ①外側台座を室外側から差込みます。
- ②内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
- ③角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
- ④レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

### ■コンストラクション装置について (装置付きの場合)

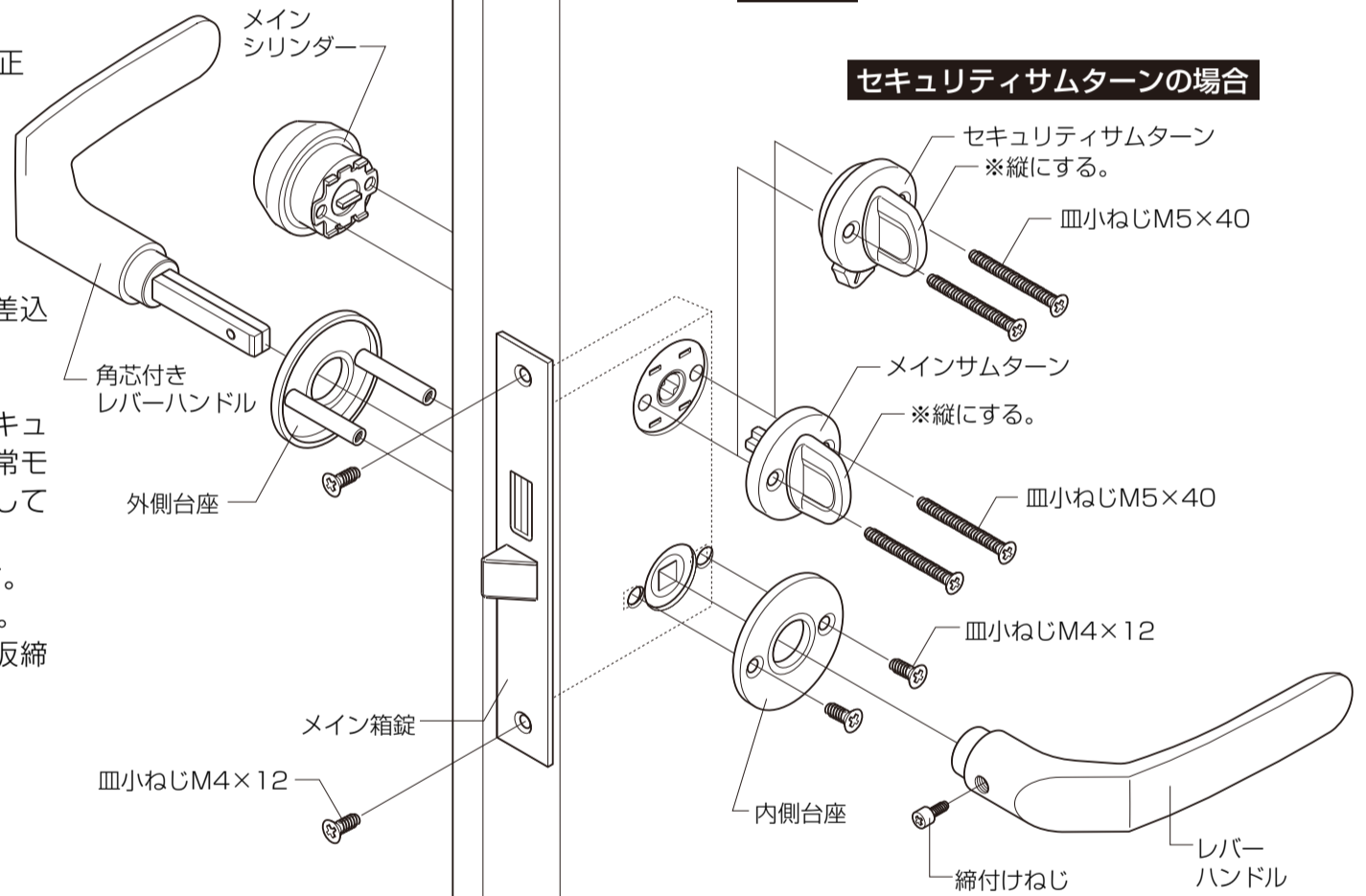
- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。(2ロック仕様の場合)

### ■セキュリティサムターン詳細図

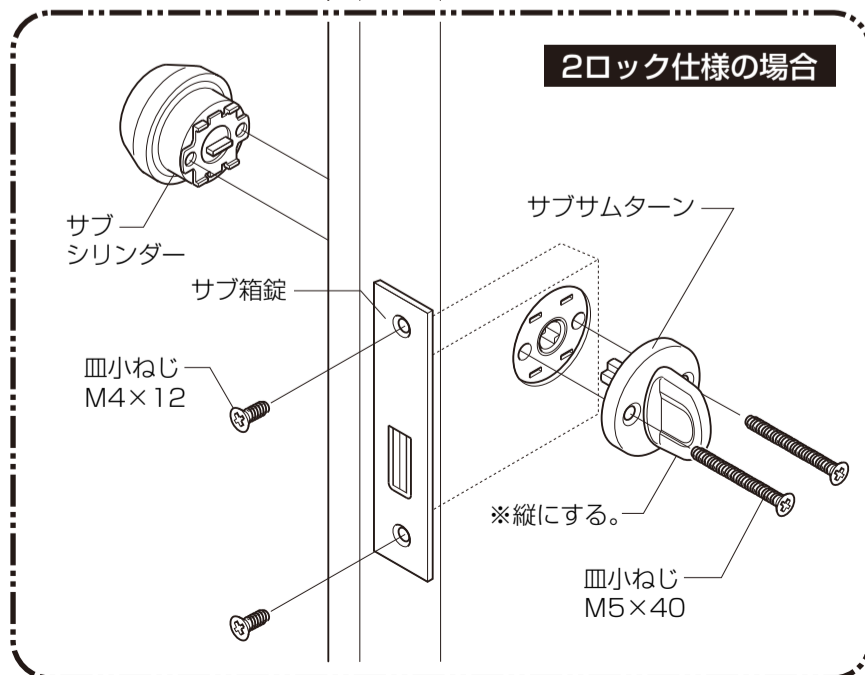
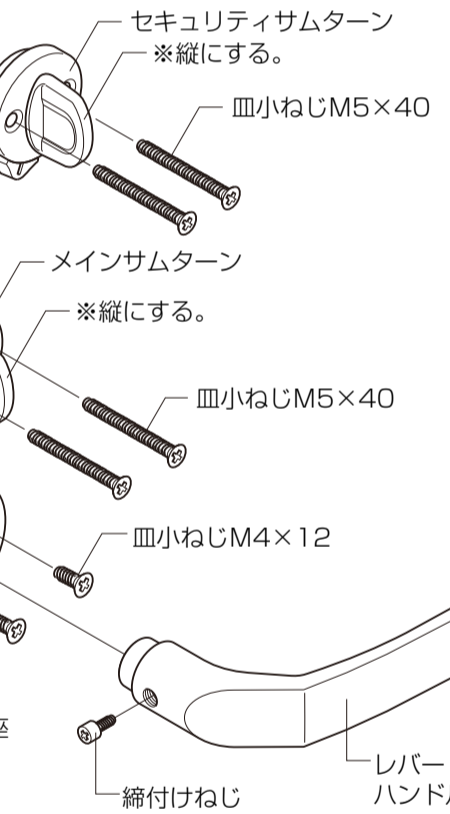


### 室外側

### 室内側



### セキュリティサムターンの場合



### ■操作方法ラベル張付け位置

